

普及現地情報



発信年月日:令和5年(2023年)12月15日
所属名:高島農業農村振興事務所農産普及課
番号:H23017
部門分類:160(果樹)
発信者名:山下

「高島市オリーブ生産者の会」研修会で冬期管理の技術指導を実施

去る12月11日に高島市武曽のオリーブ栽培ほ場において、「高島市オリーブ生産者の会」研修会が開催され、生産者および関係者あわせて16名参加されました。

研修会では参加された生産者の方々に、幼木・若木を中心とした樹体の冬期の保護や、冬下の管理について、座学ののち、実演と実際の作業を交えて学んでいただきました。

高島市では令和2年度から農業振興策として、耕作放棄地の解消や6次産業化の促進を目指してオリーブの特産化を推進しています。令和4年度末時点で、市内には栽培面積約4ha、本数にして1,600本以上が植栽されています。

また、市内のオリーブは令和3年12月や令和5年1月の大雪により、枝折れや枯死が発生しており、幼木・若木の冬期の保護が課題となっています。そのため、今回の研修会では「武曽オリーブを育てる会」の協力のもと、高島市オリーブ生産者の会を対象に雪害・寒害対策にかかる技術指導を中心に実施しました。

当日は生産者13名、関係者3名の16名が出席され、座学で今冬の気候の状況や雪害・寒害対策について理解いただいたのち、ほ場で雪害・寒害対策の手法を実演し、実際に作業していただくことで対策手法を生産者に習得いただきました。

地域の特産物として期待されていること、植栽してから日が浅く、本格的な収穫は数年後となります。今後とも関係機関と連携しながら、オリーブ栽培を支援していきます。



座学、実演、実習による技術習得支援